

委員会視察成果報告書

2026 年 8 月 19 日

犬山市議会議長

議員名 岡 党

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	2026 年 8 月 19 日(水) ~ 年 月 日() (泊 1 日)
(2) 視 察 地	京都市 宇治市 (67.5% ²⁶ km ² , 人口: 177,390人 ^{8/1})
(3) 視察の種類	(常任・特別委員会) (建設経済委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	事前質問No. → ① テーマ: 宇治川の鵜飼について。於宇治市観光センター 〔観光協会係長・鵜匠 沢木万理子さんより説明〕 ② この仕事について25年。もう1人も20年。もう1人は3年目。 女性3人(全体で4名)募集かけずに集った。 ③ 「配当」というくみで、日によって配当は異なる。アルバイト。 ④ 鵜、鵜船、鵜舎は観光協会所有で、その仕事は協会の仕事。 ⑤ 観光センターの倉庫の様な所で人工ふ化を行っている。 生ませない年と生ませる年を別けて対応。現在人工ふ化は10羽。 〔観光振興課 澤田直子課長より説明〕 ⑥ 鵜飼の伝統継承: 市政100周年のなかで、位置づけしている。 ⑦ 市、商工会議所、観光協会、鵜飼事業者と連携を取り、役割を果たしている。 〔自由質疑で〕・人工はほとんど取れていない。 その後、中洲にある鵜舎見学。
(5) 犬山市に 対する提言	鵜飼は観光資源の一つとして、また、伝統文化の一つとして息長く継承すべきと思う。 その為の人材育成の責務は市にあると思う。 上昇をめざさなくとも良いが長く継承すべきである。

